

# NSG

GROUP



# NSG グループ

## 2016年3月期第1四半期決算報告

(2015年4月1日～2015年6月30日)

日本板硝子株式会社  
2015年7月31日

マーク・ライオンズ  
代表執行役副社長兼CFO

イアン・スミス  
グループ財務コントローラー

**2016年3月期第1四半期決算報告**  
(2015年4月1日～2015年6月30日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

## 要点：2015年4月－2015年6月



- 無形資産償却前営業利益は前年同期と同様の水準、コスト削減は継続、個別開示項目は改善
- 北米と東南アジアは、好調を持続
- 南米は市場状況が低調に推移、ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受ける
- 日本の業績は改善
- 欧州では緩やかな改善の兆しが見られる

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

5

無形資産償却前営業利益は、前年同期と同水準となりました。コスト削減は、引き続き進展しています。個別開示項目は前年同期から改善しています。

北米と東南アジアでは、好調な業績が持続しています。

南米は低調な経済状況の影響を受けており、ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受けています。

日本の業績は改善しています。

欧州では、当社の建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業のいずれにおいても、緩やかな改善の兆しが見られています。

**2016年3月期第1四半期決算報告**  
(2015年4月1日～2015年6月30日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

## 連結損益計算書



(億円)	16年3月期 4月-6月期	15年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,621	1,557	4%**
無形資産償却前営業利益	52	51	2%
償却費*	(21)	(21)	
営業利益	31	30	
個別開示項目	(6)	(16)	
金融費用(純額)	(42)	(45)	
持分法による投資損失	(1)	(2)	
税引前損失	(18)	(33)	
当期損失	(5)	(44)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(14)	(47)	
EBITDA	137	133	

\* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却  
\*\* 為替変動を除くと1%

改善している地域と低調な地域が混在

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

7

売上高は1,621億円となり、前年比4%の増加となりました。  
為替変動の影響を除くと、前年比1%の増加となります。

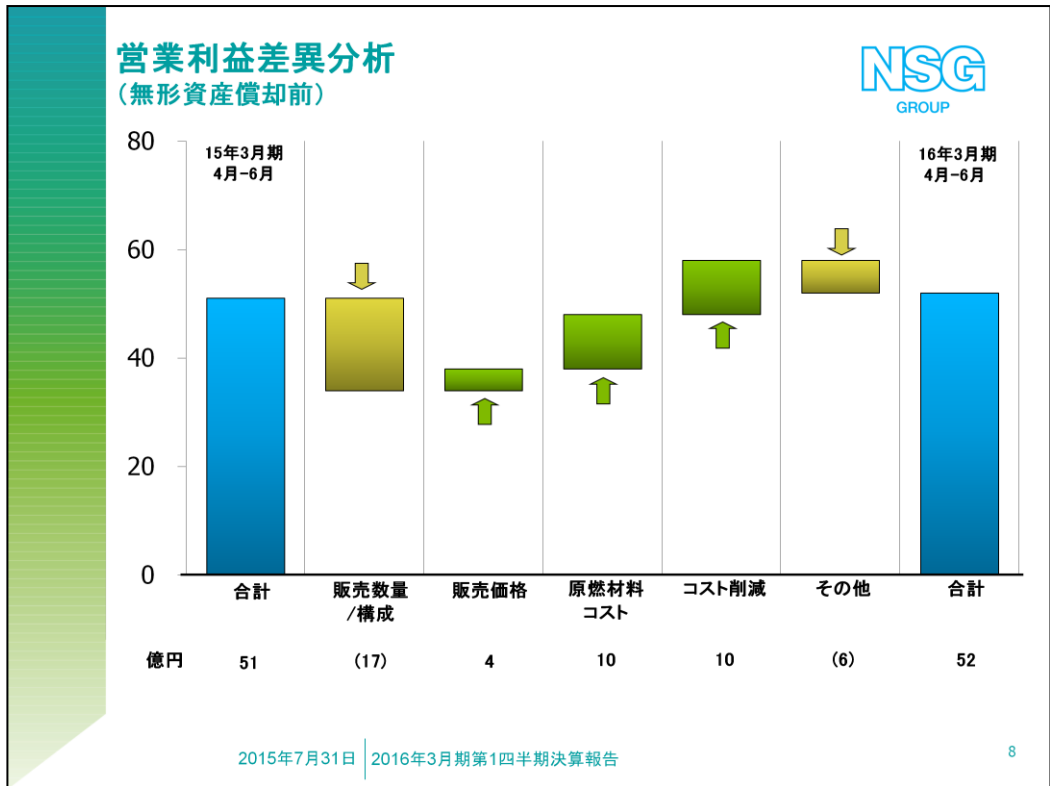
無形資産償却前営業利益は、前年同期と同水準です。  
これは市場状況が改善している地域と低調な地域が混在している状況を反映しています。

個別開示項目は、主にリストラクチャリング費用の減少により、10億円改善しました。

金融費用と持分法による投資損失は、前年同期と比べて若干減少しました。

当期損失は、前年同期から減少しました。

EBITDAは、わずかに改善しています。



「販売数量/構成」の差異は、ディスプレイ事業を取り巻く環境が厳しさを増した結果、当事業の売上が減少している影響を反映しています。

「販売価格」は、主要な市場では安定的に推移しました。

「原燃材料コスト」は、燃料コストが下がる一方で、原料コストの上昇が改善効果の一部を相殺しました。

「コスト削減」による効果は計画に沿ったかたちで発現していますが、前年と比較すると小さくなっています。

「その他」はマイナスになっていますが、これは主にアルゼンチンとポーランドにおける窯の定修の影響によるものです。



## 主要財務指標 (KPI)



	2015年6月末	2015年3月末
ネット借入(億円)	3,970	3,741
ネット借入/EBITDA	6.8x	6.5x
ネット借入/純資産比率	1.9	2.0
	2016年3月期 4月-6月期	2015年3月期 4月-6月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.7x	3.4x
営業利益率*	3.2%	3.3%

\* 無形資産償却前営業利益

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

9

「ネット借入」は、運転資本の季節的な変動により増加しました。これは「ネット借入/EBITDA」の悪化の要因になっており、EBITDAの改善による効果を打ち消しています。

「ネット借入/純資産比率」は、円安による為替換算調整と退職給付に係る負債の減少によって純資産が増加したことにより、改善しました。

「EBITDA/インタレスト・カバレッジ」は、金融費用の減少とEBITDAの増加により、改善しました。

**2016年3月期第1四半期決算報告**  
(2015年4月1日～2015年6月30日)



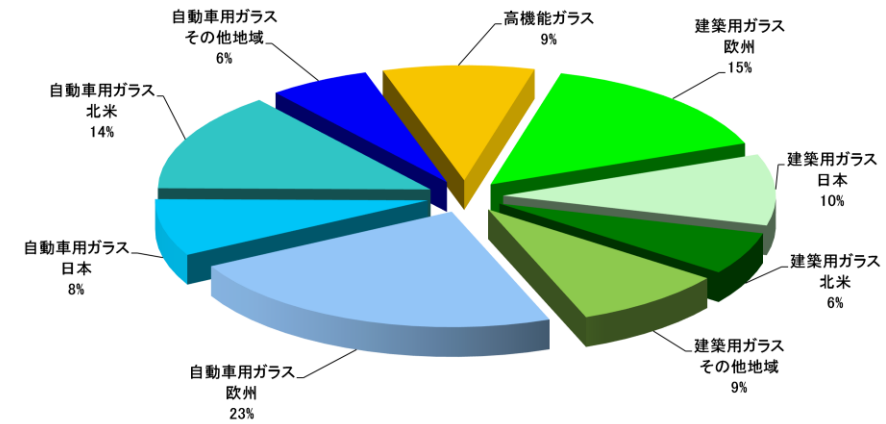
アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

## 事業別売上高

NSG  
GROUP

1,621億円



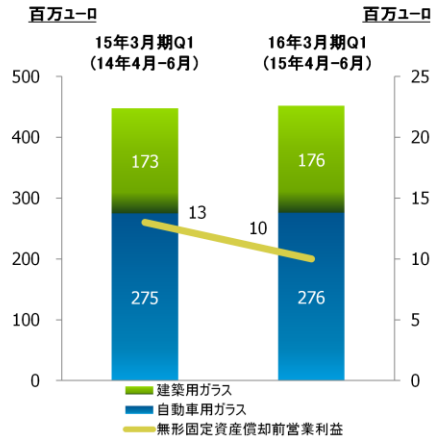
2016年3月期  
(2015年4月-6月)

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

11

当社グループの売上高の構成比は、欧州が39%、日本で23%、北米で20%、その他の地域で18%となっています。

欧州  
2015年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 市場状況は安定
- 窯の定修の影響により減益
- 市場状況に改善の兆し

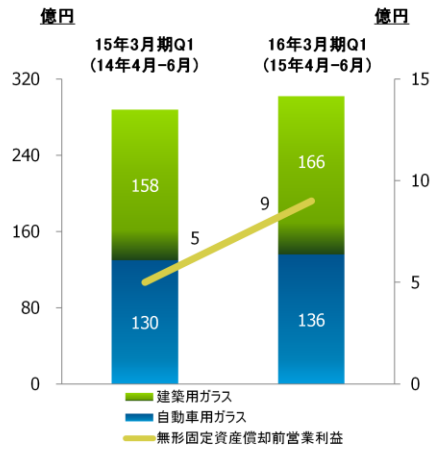
自動車用ガラス事業

- 売上と数量は、前年同期と同様の水準で推移
- 西欧において市場回復の兆候が見られる

欧州の建築用ガラス市場は、安定的に推移しました。  
当社の利益は、投入コストの減少があったものの、ポーランドの窯の定修の影響により、減少しました。市場では、改善の兆しが見られています。

自動車用ガラス事業の売上と数量は、前年同期と同様の水準で推移しました。西欧では、市場の回復の兆しが見られました。

日本  
2015年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 消費増税の影響を受けた前年同期より数量が増加し、増収増益
- エコポイント制度による好影響を享受

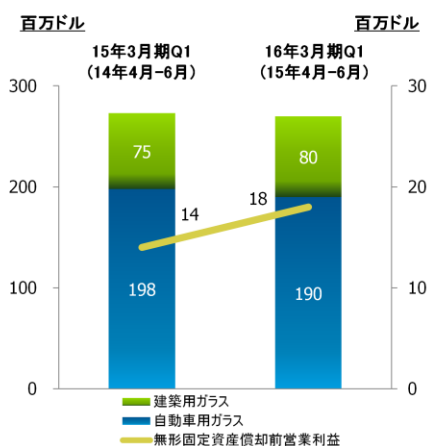
自動車用ガラス事業

- 売上と利益は前年同期と同様の水準で推移
- エコ・カー減税制度の改訂により、新車市場は弱含み

建築用ガラス事業は、消費増税の影響を受けた前年同期より数量が増加し、増収増益となりました。エコポイント制度による好影響も享受しています。

自動車用ガラス事業の売上は前年同期と同様の水準で推移しました。市場は、エコ・カー減税制度の改訂により弱含みの兆候が見られました。

## 北米 2015年3月期第1四半期との比較



### 建築用ガラス事業

- 建築用ガラス市場の成長により、増収増益

### 自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスは、各種改善が増益に寄与

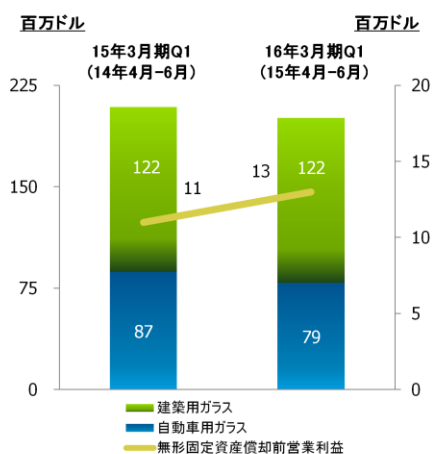
2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

14

建築用ガラス事業は、市場の成長により増収増益となりました。

自動車用ガラス事業の売上と利益は、前年同期と同様の水準で推移しました。  
新車(OE)ガラス事業では、各種改善が増益に寄与しました。

## その他地域 2015年3月期第1四半期との比較



### 建築用ガラス事業

- 東南アジアは、ソーラー用ガラスの堅調な出荷により、好調を維持
- アルゼンチンは、フロート窯の定修の影響により減益

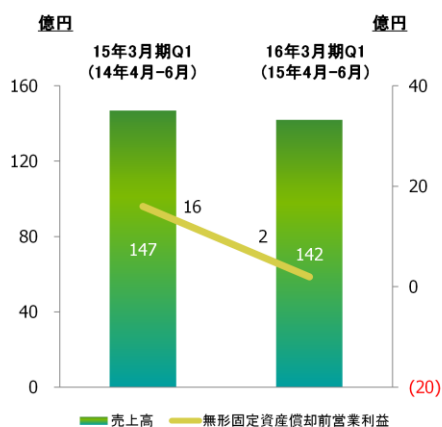
### 自動車用ガラス事業

- 南米の市場は低調に推移

建築用ガラス事業では、東南アジアでソーラー用ガラスの好調な出荷の影響を享受しました。一方、南米ではアルゼンチンの窯の定修の影響により減益となりました。

南米の自動車用ガラス市場は、引き続き厳しい経済状況の影響を受け、低調に推移しています。

## 高機能ガラス事業 2015年3月期第1四半期との比較



### 高機能ガラス事業

- ディスプレイ用薄板ガラスは厳しい市場環境の影響を受け、減益
- オフィス向けプリンター用レンズの需要は堅調を継続
- グラスコードは前年同期並みの数量

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

16

高機能ガラス事業の利益は、ディスプレイが厳しい市場環境の影響を受けたことにより減益となりましたが、第2四半期から利益が回復するものと見込んでいます。

オフィス向けプリンター用レンズの堅調な需要は持続しています。

グラスコードの数量は前年と同様の水準で推移しました。



**2016年3月期第1四半期決算報告**  
(2015年4月1日～2015年6月30日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

## まとめ



- 無形資産償却前営業利益は前年同期と同様の水準、コスト削減は継続、個別開示項目は改善
- 北米と東南アジアは、好調を持続
- 南米は市場状況が低調に推移、ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受ける
- 日本の業績は改善
- 欧州では緩やかな改善の兆しが見られる
- 通期業績見通しは変更なし

2015年7月31日 | 2016年3月期第1四半期決算報告

18

無形資産償却前営業利益は、前年同期と同水準となりました。コスト削減は、引き続き進展しています。個別開示項目は前年同期から改善しています。

北米と東南アジアでは、好調な業績が持続しています。

南米は低調な経済状況の影響を受けており、ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受けています。

日本の業績は改善しています。

欧州では、当社の建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業のいずれにおいても、緩やかな改善の兆しが見られています。

今期の業績は、残りの9か月にわたって改善することを見込んでおります。そのため、通期業績見通しの変更はありません。

## ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

## 事業部門別・地域別売上高 (2015年4月1日～2015年6月30日)



(億円)	欧州	日本	北米	その他 地域	合計
建築用ガラス	235	166	97	149	647
自動車用ガラス	369	136	231	95	831
高機能ガラス	21	70	3	48	142
その他	0	1	0	0	1
合計	625	373	331	292	1,621

**償却前営業利益\***  
(2015年4月1日～2015年6月30日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	33	26	2	(9)	52

(億円)	欧州	日本	北米	その他 地域	合計
営業利益*	14	7	21	10	52

\*: 無形資産償却前営業利益

## 為替レート



	2015年3月期 4月-6月期	2016年3月期 4月-6月期
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	172	186
円/ユーロ	140	134
円/米ドル	102	122
期末為替レート:		
円/英ポンド	173	192
円/ユーロ	138	136
円/米ドル	102	122

# NSG

GROUP